3

事務事業評価シート 【事後評価】 頂

B

成果指標

目標値より高い

商店街活性化イベント来街者数

成果指標の達成度

まちなか商業支援事業補助金利用件数

事業コード

01	07	01	02	1740	040	商店	街賑わいこ	づくり事	業費				
総合	分野	01 L	ごと		政策	03	商業の振	興					
計画	画 施策 02 商店街の再生												
目的	商店街の賑わい創出												
対象	商業者、	、商店往	団体等										
意図	商店街等のイベントや未利用店舗活用への支援により商店街の賑わい創出を図る												
事業概要	各種団体補助金・負担金 35,267千円 花巻商工会議所事業補助金、まちの駅連絡協議会会費、岩手県中小企業団体中央会補助金 商店街活性化イベント補助金 4,377千円 商店街団体等が実施する賑わいづくり13イベントへの補助 まちなか創業支援 2,607千円 中心市街地で未利用店舗棟を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 都市機能誘導区域における物件情報調査 日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 13,930千円 北海道・東北・関東・甲信越地方のワイナリーを招聘して、5/25・5/26に有料飲食会を開催												
市民参		象外											
市民協	動の形態	共任		行委員会	・協議会	<b>늦</b>	事業協力			爰・協賛	Щ	補助・助成	
<u> </u>	/+->-T.14 //			1指標				単位	区分	H30	+	H31	R02
商店	街活性化	ムイベン	ト実施件	<del>-</del>				件	計画	13.0	00	13.00	
								実績					
									計画				
2									実績				
									計画		T		

事業名

実績

区分

目標

実績

目標

実績

目標 実績

概ね目標値どおり

H30

90,000.00

93,870.00

5.00

5.00

H31

90,000.00

92,850.00

5.00

2.00

目標値より低い

R02

単位

件

成织	果指標の達成度の要因分析(成果注	<b>旨標を設定しない場合は、その理由を記載)</b>						
商が地域者に	店街活性化イベントの実施主体とた 域に根付いた既存イベントの継続間 は目標値を上回った。	なる商店街団体は組合員の高齢化や後継者不足といった状況にあるものの、 関催の支援、日本ワインフェスティバル花巻大迫の実施によりイベント来街 用した新規創業は、相談があったものの事業化へつながらなかった案件もあ						
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	郊外大型店出店により市全体の買い物利便性が向上する反面、既存商店街の競争力や商業機能は低下しており、個店の商業力の強化や中心商店街の 上版わいづくりが喫緊の課題である。						
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない	商店街の組織力、未利用店舗オーナーの意識改革、事業承継、経営力向上 などにより、事業効果の向上余地はあると考えられる。 						
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	商業団体・新規出店者等への補助金は、現行以上に削減するのはインセン ティブとして弱過ぎるため削減余地なし。						
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、商業者や団体 等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。						
		 に対する支援をはじめ、中心市街地で創業する事業者への支援や商業団体等 により商店街の賑わいを創出するとともに、商店街団体の活動支援につなが						

度の振り返り 総合評価 新型コロナウイルス感染症の影響により、商店街が実施するイベントの中止も想定される状況であるが、経済活動が本格的に再開できる状況になった際には、商店街の賑わいを取り戻すべく、イベントに対する支援を行っていく。 また、実施済みの上町・大町商店街周辺エリアの物件調査結果を関係部署や関係機関と共有することで、空き店舗を活用した新規創業の促進に取り組んでいくほか、物件調査を別のエリアで実施する。 次年度に向けて

7亩多河流 1

事務事業評価シート   【事後評価】															
会計	款	項	目		事業コ	ード						事業名			
01	07	01	02		1740	)50	商店	街利	更性向	]上事業	養				
総合計画	分野	01	しごと			政策	03	商業	の振り	興					
計画	施策	02 ī	商店街	の再	生										
目的	商店街	の来街	者の利	便性	及び安全	全性の向.	L								
対象	来街者	、商店行	封団体:	等											
意図	利便施	設を開	没する	とと	もに商品	5街共同2	施設の	の補修	(等の)	支援を	行い、	多くの人	、に商	店街を利用し	てもらう
事業概要	市民ふれあい広場運営 1,981千円 中心市街地(一日市、大迫、石鳥谷、東和)での買物客が休憩等に利用する利便施設の運営 公共駐車場確保対策 1,420千円 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保 商店街共同施設補修事業 150千円 商店街が設置した共同施設の補修経費への補助														
市民参有無	画の対	象外												_	
市民協	働の形態	共	催 \			・協議会	È	事業	協力	・協定		援・協動	_	補助・助成	
	ふれあし	\r;;+⊒≐/		動技	省標				_	単位	区分	H30		H31	R02
1	1311 600 6	心场政	人里奴							箇所	計画		4.00	4.00	
									_		実績	+	4.00	4.00	
2											計画	-			
											実績				
3											計画	-			
					12.100						実績				_
+4:	:+#·! +^!-	+ z _ □		集打		「女工人	\≐¥ FC	: 1		単位	区分	H30		H31	R02
巾街   1	市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】 							人	目標	6,50		6,000.00			
									_		実績	5,84	5.00	4,896.00	
2											目標	1			
											実績				
3											目標				
											実績				
成	成果指標の達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い								り低い						

成身	見指		標を設定しない場合は、その理由を記載)						
市街	5地		は、休日の歩行者数を用いており、当日の天候が雨だったため、歩行者数						
の	<b>載少</b>	へつながった。							
Ŀ	/\+		  公共駐車場確保対策は未利用市有地の活用などを検討しなければならない						
目的妥当性	Δ,	* 受当である	公共戦争物能体対策は不利用に自己の活用などを採引しなければなりない						
妥		見直し余地がある	多くの商店街で施設の老朽化が進んでおり、来街者の安全・安心確保の観						
性		妥当でない	点からも公共関与は必要と考える。						
$\vdash$	成馬	女ヨ (ない    果の向上余地	   商店街の利便性や安全・安心なまちづくりなど、商店街の取り組み如何で						
有効	1-20	向上余地がある	オまだまだ向上余地はあると思われるが、商店街そのものの資金や人的な面 ┃						
効性		向上余地がない	.で余力に乏しい懸念がある。 						
'-									
	事業	- 業費・人件費の削減余地	公共駐車場確保の必要性については、毎年度検討。						
効率		事業費の削減余地がある							
性		人件費の削減余地がある							
		どちらも削減余地がない							
	受記	益と負担の適正化余地	受益機会は公平。						
公平		受益機会の見直し余地がある	商店街共同施設改修事業は自己負担を要する。						
性		費用負担の見直し余地がある							
$\sqsubseteq$		適正である							
		商店街の利便性、来街者の安全  同施設等の適正配置や安全性破	と・安心面への配慮を考えると、公共施設はもとより、商店街が設置した共 は保は必要不可欠であり、今後もより効果的な対策の検討は必要である。						
	今年								
	度								
	の振								
	11)								
	返り								
総合評価									
評			最観形成事業より上町ふれいあい広場を移管した。計5つのふれあい広場の						
""	次	連宮、商店街共同施設の補修寺  。	Fに対する支援により、引き続き、商店街の利便性や安全性の向上に努める   						
	次年	-							
	度に								
	向								
	운								
	に向け								

事務事業評価シート 【事後評価】

会計 款 項 目 事業コード 商店街景観形成事業費  分野 01 しごと 政策 03 商業の振興  施策 02 商店街の再活性化 目的	2002	未开则。	<u> </u>		1 字及叶叫 1						
総合 計画	会計	款	項	目	事業コード				事業名		
おいまして   まいまして   まい	01	07			174060	商店街景観形成	<b>艾事業</b> 費	ŧ			
市部本   10	総合	分野	01 l	ノごと	政策	03 商業の振	興				
画数	計画	施策	02 酕	商店街の	再生						
対象   魅力ある商店街が形成され、商店街の来街者が増え、賑わいの創出を図る   地力の商店街顔づくり交付金 6,000千円 大道、石烏合、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援   中心市街地における市民交流の場である賢治の広場の運営   市民協働の形態   共催   実行委員会・協議会   事業協力・協定   後援・協賛   補助・助成   季託   茶記動指標   単位 区分   H30   H31   R02   計画   3.00   3.00	目的	中心商	店街の再	<b>∮活性化</b>							
意図	対象	商業者、	、商店街	<b>討団体等</b>							
中心市街地における市民交流の場である資治の仏場の連営   事業   中心市街地における市民交流の場である資治の仏場の連営   市民協働の形態   共催   実行委員会・協議会   事業協力・協定   後援・協賛   補助・助成   委託   活動指標   単位   区分   H30   H31   R02   計画   3.00   3.00     実績   3.00   3.00	意図										
市民協働の形態	事業概要	中心市街地における市民交流の場である賢治の仏場の連宮									
活動指標   単位   区分   H30   H31   R02	有無	₩ X <sub>1</sub>						1 140		I. n	
1	市民協	働の形態	共								
1     団体     実績     3.00     3.00       2     計画     実績     1       3     計画     実績     1       市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】     単位     区分     H30     H31     R02       1     日標     6,500.00     6,000.00     6,000.00     1       2     野治の広場入館者数     日標     15,000.00     15,000.00     15,000.00       3     日標     15,377.00     16,230.00     1       3     日標     実績     15,377.00     16,230.00	顔づ	くり交付	全交付		J 打日 11示		半世				KUZ
2     計画 実績		( ) $\sim$ 1.	1 1 1 1 1 1	EI IT XX			団体				
2     実績       3     計画       実績     実績       市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】     単位 区分 H30 H31 R02       目標 6,500.00 6,000.00       実績 5,845.00 4,896.00       日標 15,000.00 15,000.00       実績 15,377.00 16,230.00       日標 実績	-								3.00	3.00	
計画   実績	2										
3     成果指標     単位 区分 H30 H31 R02       1     市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】     人 目標 6,500.00 6,000.00 (6,000.00)       実績 5,845.00 4,896.00       2     目標 15,000.00 15,000.00 (7)       実績 15,377.00 16,230.00 (7)       目標 実績 (7)	$\vdash$							7 424			
成果指標     単位     区分     H30     H31     R02       1     市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】     日標     6,500.00     6,000.00       実績     5,845.00     4,896.00       日標     15,000.00     15,000.00       実績     15,377.00     16,230.00       日標     実績	3										
1     市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】     人     目標 6,500.00 6,000.00 実績 5,845.00 4,896.00       2     野治の広場入館者数     人     目標 15,000.00 15,000.00 実績 15,377.00 16,230.00       3     目標 実績 15,377.00 16,230.00				成.果			単位		H30	H31	R02
実績     5,845.00     4,896.00       度治の広場入館者数     目標     15,000.00     15,000.00       実績     15,377.00     16,230.00       目標     実績     第		地におけ	る一日			会議所】	_				
2     人     実績     15,377.00     16,230.00       目標     実績	1						人	実績	5,845.00	4,896.00	
3     実績 15,377.00 16,230.00       目標 実績		の広場入							15,000.00	15,000.00	
実績 実績	2						人	実績	15,377.00	16,230.00	
								目標			
成果指標の達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い	3							実績			
	成	果指標の	達成度		目標値より高し	,1	概ね目	標値ど	おり	目標値よ	り低い

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)										
行記  賢消	商店街の顔づくり推進事業としてのイベントは地元に定着しており、その支援を行うことで、一定量の市街地通行量を確保できたが、調査当日の天候が雨だったため、花巻、大迫、東和地域で歩行者の減少が見られた。 賢治の広場については、商店街来街者の休憩スペースやイベント時の拠点として定着しており、入館者数は目標値を上回っている。									
目的妥当性	公共	共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある	商店街地元住民の意思が最重要であり地元主体で実施することが基本であるが、顔となるべき中心商店街の活性化、景観・都市機能の保持など行政の役割も大きく、住民と行政双方が協調し進めるべき事業							
11±		妥当でない								
	成身	果の向上余地	┃「顔」の意味・方向性について、地元商店街等と行政が完全に同じ方向を ┃ ┃向いているとは言い難い。なお継続的な議論を要する。							
有効性		向上余地がある								
性		向上余地がない	賢治の広場は、民間による企画展示や観光客等への情報発信、おもてなし   を継続して行うことで向上を目指す。							
	+ 1									
加	事	業費・人件費の削減余地   東米弗の料ばる地がある	現状では交付金縮小がそのままイベント縮小(廃止)に繋がる。将来にわ   たり残していくべき「顔」と、顔づくりイベントのあり方を合わせて議論							
本美国の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の										
性		人件費の削減余地がある	<b>3</b> .							
		どちらも削減余地がない	7. ** ** ** ** * * * * * * * * * * * * *							
//	党位	益と負担の適正化余地 「双光機なの思志」の地がある	政策意図として特に3地区に限定した交付金である。							
公平性		受益機会の見直し余地がある	賢治の広場は誰でも利用することができ、公平である。							
性		費用負担の見直し余地がある								
<u> </u>		適正である	笠 4 世 / 1104 - 1105 ) - 笠 3 世 / 1100 - 1100 ) I= ト 13 ナ カ 4 地 ギ が担 ば 4 ー							
総合評	今年度の振り返り	マに基づいた地域住民と一体と  域の特色や歴史、先人を活かし  除く3地域に交付金を交付し、	第1期(H21~H25)、第2期(H26~H28)により市内4地域が掲げたテー はった事業が展開され、市内外からの中心商店街への来場者も増加し、地た商店街づくりと街なか誘導に寄与した。平成29年度からは、花巻地域を各地域で継続してイベント等を実施している。 「京来街者の休憩スペースやイベント時の拠点として定着している。							
	次年度に向けて	していく。	り、引き続き、各地域の特色や歴史、先人を活かした商店街づくりを展開 関便施設として活用されている実態に合わせ、商店街利便性向上事業へ移管							

事務事業評価シー	<b>-</b>	【事後評価

<u> </u>	来計"	<u> </u>		争技計训』						
会計	款	項	目	事業コード			1	事業名		
01	07	01	02	174230	プレミアム付商	商品券事	業費			
総合計画	分野	01 L	ごと	政策	03 商業の振	興				
計画	施策		店街の							
目的	消費税の行う。	の増税に	伴う低原	所得者や子育て世	帯の消費に与え	る影響	を緩和す	「るため、地	域における消	肖費喚起を
対象	低所得	者(非誤	<b>Ŗ税者)</b> 、	子育て世帯(0-	2歳児)					
意図	地域に	おける消	費の喚起	起と下支え						
事業概要	プレミアム付商品券販売 60,585千円 消費税増税による低所得者及び3歳未満の子がいる子育て世帯へのプレミアム付商品券(プレミアム率 20%)を販売。 (1人あたりの購入限度額は2万円。プレミアム分の上限5千円を上乗せした最大2万5千円の額面として販売。)									
市民参	ξ Xi	象外	. 1 .				1			
市民協作	動の形態	共作		渓行委員会・協議会 D指標	₹ 事業協力	・協定 単位	┃   後打   区分	爰・協賛   H30	補助・助成 ┃ H31 ┃	委託 R02
	<del></del> 券購入引	換券送		אוםנו		+111	計画	1100	24,000.00	NOZ
1						件	実績		10,530.00	
							計画			
2							実績			
3							計画			
							実績			
			成果	指標		単位	区分	H30	H31	R02
1							目標			
							実績			
2							目標			
							実績			
3							目標			
Ett E	果指標の	<b>達成</b>	1.	 目標値より高い	1 - 1	脚カラ	実績 標値どる	  a	<u>   </u> 目標値よ	11任11
DX.Ξ	で1日信い	迁以反		口信止みり同じ	1-	154.14 ⊨	お原匠へ	1.7   -	口信辿み	ンルルリ

成县	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)									
扶則	力費!	的な性質により成果指標の設定し	は馴染まない。							
目	公共	 共関与の妥当性	国の消費税増税による影響を緩和するための事業であり、公共関与は妥当							
魱		妥当である	である。							
目的妥当性		見直し余地がある								
性		妥当でない								
	成具	県の向上余地	対象者及び事業者への周知普及に努め、対象者に有効に活用していただく							
有		向上余地がある								
有効性		向上余地がない								
	事業	<b>養費・人件費の削減余地</b>	国が定める制度に沿っての対応のため、削減余地はない。							
効		事業費の削減余地がある								
効率性		人件費の削減余地がある								
		どちらも削減余地がない								
	受記	<b>益と負担の適正化余地</b>	対象者は一定の自己負担を伴うため、費用負担は適正である。							
公平性		受益機会の見直し余地がある								
性		費用負担の見直し余地がある								
		適正である								
			x市で45.4%(県41.6%)となっており、国全体としても4割程度にとどま							
	ء	っている。 手続きが複雑で、あらかじめ購	    表入資金を工面する必要がある点が敬遠されたと国では分析している。							
	今年度の	3 MU C 13 12 WH C ( 05 D 13 O 05 MF	STATE OF THE STATE							
	<u>φ</u>									
	振川									
	振り返り									
総	יט									
総合評価										
醋										
	次									
	年									
	に									
	次年度に向け									
	건									

別紙1

成果指標 の達成度

目標値より高い

概ね目標値どおり

# 平成 31 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

<del>++</del> /:	X 3	<u>'</u>	-	份争。	未評価ン	<b>/</b> –   <b>/</b>	争场	₹ <del>6</del> ₩						
	付きの 計	ンセル(	<u>のみ入力</u> 項	りしてく	<u>ださい。ま</u> 事業]-ド	た、行・列	の挿入や削除に	は絶対に行わな 事業名	いでください。	Þ	<b>以果指標の達成</b> 原	度の要因分析		
_	·般	07	01	02	178550	プレミア	ム付商品券事業	業費(繰越)						の成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) 、成果指標の設定はふさわしくない。
総合計画	政		-3 商	業の振興 店街の再										
目的	消費	費増税	による消	肖費に与	える影響を	·緩和する								
対象	低原	听得者	(非課種	说者)、	子育て世帯	(0-2歳児)								
意図	地垣	或にお	ける消費	貴の喚起	と下支え					目的区	公共関与の妥 ○ 妥当である			国の消費税増税による影響を緩和するための事業であり、公共 与は妥当である。
				実現する 反売 7,		手法を記載す	ること			的妥当性	見直し余地妥当でない			
消 アム (1 <i>)</i>	費税增 率20%	i税に。 る)を りの購	よる低別 仮売。	斤得者及	び3歳未満		子育て世帯へフ 限5千円を上乗・			有効性	成果の向上系の上系の上系地が	<b>戻地</b> ぶある		対象者及び事業者への周知普及に努め、対象者に有効に活用して いただく。
										効率性	事業費の削 人件費の削	<b>費の削減余地</b>  減余地がある  減余地がある 域余地がない		国が定める制度に沿っての対応のため、削減余地はない。
										公平		見直し余地があ	る	対象者は一定の自己負担を伴うため、費用負担は適正である。
		画の有無		対象外 共催		実行委	委員会・協議会	事業協力・	協定	性	<ul><li>費用負担の</li><li>適正である</li></ul>	)見直し余地があ	る	
	- 1100	動の形態		後援・協		補助・		委託				記評価結果の総		
77	5動指標	票(上記	記「事業棋	既要」に対	応) 直	单位 区分		31年度(実績)	2年度				本市で45	. 4%(県41.6%)となっており、国全体としても4割程度
1	商品券	購入引	換券送	付		枚 計画 実績		24, 000 10, 530		手絲	, , , , , , , , , , , ,		購入資金	を工面する必要がある点が敬遠されたと国では分析してい
2	2					計画				る。				
3	3					計画実績								
万	<b></b> 大果指標	票(上詞	記「意図」	に対応)	È	单位 区分	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度					
①						目標実績								
						目標								
(2)	2					実績								
3						目標								
						実績								

目標値より低い